

や。十方は悉く宝土也。宝土何ぞ壞れんや。國に衰微無く土に破壊無くんば、身は是れ安全にして心は是れ禪定ならむ。此の詞、此の言、信すべし、崇むべし」
我今ネパール開教に當りて、謹んで是の立正安國論の要文を、ネパール國のビレンドラ閣下に奏進す。國王の身は是れ安全にして、心は是れ禪定ならん事を。

#37-1

平和行進出發集會にての御挨拶

昭和五十四年五月十九日 於夢の島

南無妙法蓮華經

本日、國民平和行進が出發する時に當りまして、私も参りましたが、去年までは曲がりなりにも、一足、二足、歩きましたけども、今年はいよいよ歩けなくなりました。唯、皆様方の歩きなされるのを、お見送りするだけに致しました。

今や、この平和行進、核兵器反対の運動は、世界所々に行なわれております。アメリカでも核兵器製

造の所に、その工場内で抗議集會が開かれておりまして、その集った数が一万五千人と申します。その中に、今までかつて顔を見せなかった原住民、インディアンの一群があります。それから英國であります。これも四月の中頃から英國縦断平和行進を企てて、各地の軍事基地や核兵器のある所、そんな所を抗議しつつ巡っております。六月の初めまで、巡るようであります。今や世界の人々は、ようやく核兵器の脅威に晒されておる事が分かりましたが、どうしたならば、この災いが払い退けられるか、これが今日の、人類の問題になっております。これを解決せんが為私どもは歩きます。皆、歩くようであります。天を仰ぎ、地を踏んで、お祈りを致します。これがやがて天地を動かし、世界を動かす大きい力になった時に、核兵器の効能はこの世界から消えるんでありましょう。その日を目指して歩きます。